

建築主：マブチモーター株式会社
 設計：日本アイ・ビー・エム株式会社
 設計：株式会社日本設計
 施工：清水建設株式会社 千葉支店
 所在地：松戸市松飛台430

建築と設備の融合による省エネ建築

マブチモーター株式会社本社棟



ダブルスキンカーテンウォールを採用した外観デザイン

緑豊かな八柱霊園に隣接する敷地周辺は、かつて「野馬土手」に囲まれた長閑な軍用馬の放牧場であった。

外構計画では、このような土地の地理的条件や歴史的文脈を継承して、建物周囲に建設残土を利用してアンジュレーションのある丘を築き、せせらぎやビオガーデンを配して周辺の緑と調和する自然空間の再現を試みた。

建物中央のアトリウムを挟んで、東西に1,500㎡の無柱大空間を4層重ねて立体型ワンオフィスを構築し、効率と交流性を高めた執務空間を創出している。

アトリウムから自然光を導入し、奥行き深い執務空間の居住性を高め、広いリフレッシュ空間として活用される階段踊り場は、オフィスの上下階を動線的、視線的に一体化する役割を果たしている。

ガラスのダブルスキンサッシを採用して空調負荷低減を図り、自然採光及び通風を採り入れ、外気冷房、氷蓄熱、昼光照明制御、個人で風量調節できるタスク空調等を駆使して、建築と設備の融合による効率的な省エネルギーを実現している。

グローバル企業の本社機能が、地震時に寸

断なく業務継続できるよう免震・制震構造を採用するとともに、外観もガラスと本積みレンガの明快な構成で、汚れ難いディテールを工夫してメンテナンスフリーに配慮している。

地域との融合、地球環境への配慮を標榜するマブチの環境基本方針に基づいて100年建築を目指した本社棟は、精緻な企業イメージを彷彿させる格調高いデザインで、景観面・環境面においてバランスのとれた優れた作品として高い評価を集めた。

(明智克夫)



自然換気機能と連続した内部空間を創出するアトリウム



自然素材を様々なパターンにより積層させたレンガ中空積工法

(撮影/新建築社)